



14

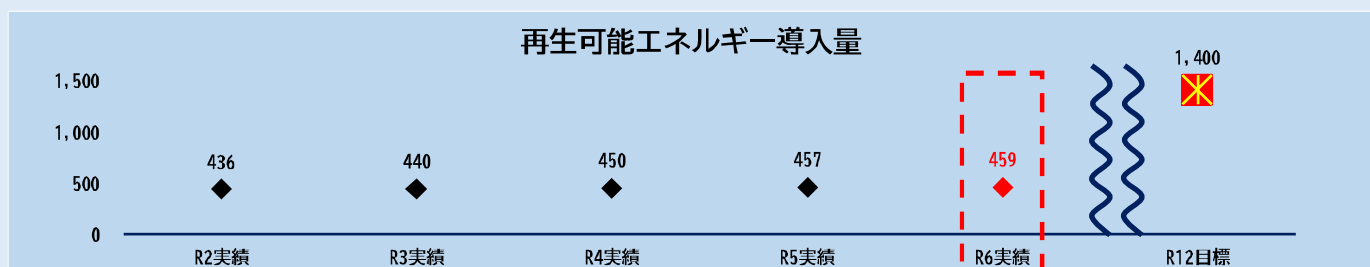
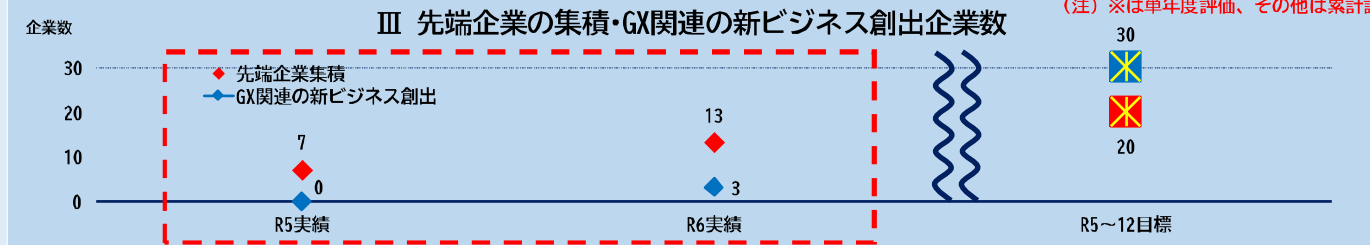
方策  
2

## K P I の達成状況

Kinki-yushu  
Action!

| 検証指標                          | 基準（戦略策定時）  | 実績（最新値）                                      | 目標（注）                                           |
|-------------------------------|------------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 方策②学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進   |            |                                              |                                                 |
| Ⅲ 先端企業の集積・<br>GX関連の新ビジネス創出企業数 | —          | 先端企業集積 13社<br>(R5～6)<br>新ビジネス創出 3社<br>(R5～6) | 先端企業集積 20社<br>(R5～12)<br>新ビジネス創出 30社<br>(R5～12) |
| Ⅳ 再生可能エネルギー導入量                | 436MW (R2) | 459MW (R6)                                   | 1,400MW (R12)                                   |

（注）※は単年度評価、その他は累計評価



15

令和6年度の取組・実績

- 北九州学術研究都市の新たな戦略「G-CITY戦略」を策定
- 北九州学術研究都市に先端企業誘致6社（半導体2社、自動車1社、ロボット1社、AI1社、宇宙1社）

評価

- 戦略策定を機に先端企業の誘致やスタートアップ企業の創出が加速
- KPI達成に向け順調に推移

今後の方向性

- 新たなイノベーションが連続して生まれる街を実現するため、「G-CITY戦略」を着実に推進することで地域経済を牽引

課題

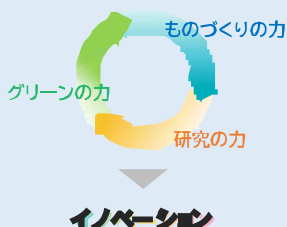
- 「G-CITY戦略」による学術研究都市の更なる機能強化

G-CITY戦略（新・北九州学術研究都市戦略）の策定



5本の柱（施策の方向性）

- 1 「稼げる」学術研究都市
- 2 「つながる」学術研究都市（産学連携機能の強化）
- 3 「集まる」学術研究都市（先端企業・研究機関の集積）
- 4 「魅力あふれる」学術研究都市（まちづくり・エリアの魅力向上）
- 5 「世界を巻き込む」学術研究都市（グローバル・イノベーションハブの形成）



GREEN（グリーントランスフォーメーション）  
GLOBAL（世界中）  
GRID（つながる）  
GAKKEN（学研）

## 北九州学術研究都市に“先端企業”が“6社”入居



### 大陽日酸株式会社 半導体製造装置の研究開発

- 学術研究都市内に「TNSCイノベーションセンターひびきの」を開設し、半導体関連装置の使用最適化をはじめ、市内大学など各研究機関と装置の共同研究開発に取り組む



### プレミアエンジニアリング株式会社 教育・開発拠点を開設

- 学術研究都市内のロボット研究者や企業と連携することで、新たなロボット製品の共同開発や社会実装の実現による事業拡張、これに伴う海外展開等を目指す
- 北九州市を中心とした九州地域の拠点として、ユーザー企業に対するロボット販売やコンサルティング及び教育支援を行う

新規

### 東京科学大学と北九州市の協働がスタート!!



- 理系最高峰の国立大学である東京科学大学と連携協定を締結
- 東京科学大学の産学連携の要である大嶋産学共創機構長（副学長）にFAISのCINO（Chief Innovation Officer）に就任頂き、学術研究都市の産学連携機能を強化
- 北九州地域の大学や企業等との連携による、半導体をはじめとしたイノベーション創出に向けた共同研究等の実施
- 学術研究都市内に東京科学大学の活動拠点「北九州ラボ」の開設を検討
- この連携協定を契機に、大学の「知」と先端産業が融合し、新たなイノベーションが連続して生まれる街『G-CITY戦略』の実現に向けた取組みをさらに強力に推進

イノベーション創出に関する連携協定について  
東京科学大学 X 北九州市 X FAIS



令和7年度取組

令和6年度の取組・実績

- 経営者向けの、GXエグゼクティブビジネススクール（10社・17名受講）
- GXの専門家による伴走支援（専門家派遣34回）
- GX推進補助金（採択3件）

評価

- 市内中小企業のGXに関する機運は高まっている
- KPI達成に向け着実に増加

今後の方向性

- GXに取り組む機運の醸成と、GX関連のプロジェクトの創出

課題

- 地域企業におけるカーボンニュートラルの取組を、省エネレベルから新ビジネス創出等へ進展させていくことが課題
- 日本製鉄の電炉化プロジェクトへの支援の検討



北九州GX推進コンソーシアム

- カーボンニュートラルの動きを成長のチャンスと捉え、令和5年12月に「北九州GX推進コンソーシアム」を創設し、「最先端の研究開発・社会実装」、「GX関連産業集積」、「GX人材の育成」、「地域企業のGX支援」の4つの視点でGXを推進

北九州GX推進コンソーシアムの取組

- 産学官金のプロジェクト創出を目指す次世代燃料、半導体等の部会、学研都市の脱炭素化を進める未来共創部会を設置
- 地域企業のGX人材育成に向け、経営層を対象にしたGXエグゼクティブビジネススクールを開講
- GXによる成長を目指す企業の相談窓口を設け、GXの知識・技術を有する専門家による伴走支援を実施
- 企業のGXに向けた取組を後押しするため、CO2排出量可視化ツールを無償提供
- GXビジネスモデル変革・新ビジネス創出のための、GX推進補助金を創設



会員  
350社



## GX関連の新ビジネスを創出（3件）（令和6年度の取組・実績）



### 西日本ガラスリサイクルセンター（廃ガラスの水平リサイクル）

- 脱炭素貢献にかかる自社PR動画を作成し、廃ガラス排出事業者に対してリサイクルのGX価値を訴求するとともに、廃ガラスの回収量増加に貢献



### コンダクト（デザインの力で「建材ロス」をブランド化）

- 建材ロス（廃材）にデザインの力で新たな価値を付加し、賃貸マンションに活用することで、材料調達や建材廃棄にかかる温室効果ガス排出量の削減に貢献



### 小倉セメント製品工業（CO2低減量算定のための基幹システム改修）

- 低炭素型製品使用時の従来製品と比較したCO2排出削減量の自動算出につながるシステムの改修を行い、削減量の見える化を図ることで、顧客への提案力の強化に寄与し、さらには北九州をはじめとした建設分野の脱炭素の普及に貢献

令和7年度も引き続き

- IHIによる全国初の熱マネジメント実証など、GX関連のプロジェクトを促進
- 先端分野への助成金による研究開発支援など、企業や大学の新ビジネス創出を支援
- 地域企業のニーズに沿い、ビジネスモデル変革・新ビジネス展開を具体的に支援（新ビジネス創出に関心の高い地域企業のフォローやビジネスマッチング支援など）

22

### 令和6年度の取組・実績

- 国の脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、公共施設への第三者所有方式※での自家消費型PV等の導入
- 民間への横展開による、再エネ導入量の確保

※利用者は太陽光発電設備や蓄電池、省エネ機器を購入せずに、電力会社と設備会社のコンソーシアムが設置・所有することで、再エネ電力や空調サービスを受ける仕組み。

### 評価

- 公共施設への自家消費型PV等の導入（R6年度末実績：PV80件）※
- 民間企業への横展開（R6年度末実績：PV8件）※
- 足元の再エネ導入量は着実に増加

※ 数値は、R6年度に契約を行った案件（工事着手予定等）を含む

### 今後の方向性

- 引き続き、第三者所有方式による自家消費型PVの導入を積極的に進めるとともに、民間再エネ事業者による大規模な再エネ発電設備の導入を促進していく。
- 地域新電力を活用した、再エネ電力の調達に向けた協議を進め、再エネの利活用も含めて、再エネ電力の導入・普及に向けた取組を行う。

### 課題

- 洋上風力発電やバイオマス発電など、民間再エネ事業者による大規模な再エネ発電設備の導入が必要

23

全国初

太陽光発電の北九州トライアングルモデル

- 令和6年11月北九州市、株式会社浜田、株式会社新菱で連携協定を締結
- 高レベルなリユース・リサイクル技術を持っている地場企業とタッグを組むことで、**再エネ導入と資源循環の課題を一挙に解決する全国初のモデル**



「グリーンエネルギーポートひびき」

- 風車の積出・建設拠点、物流拠点、製造産業拠点、O&M拠点の機能を備えた総合拠点の形成を目指す
- 総合拠点を基盤に、洋上風力関連のあらゆるサービスを日本国内、東アジアに向けて提供

響灘沖に洋上風車25基設置完了

- 2017年、市の公募により「ひびきウインドエナジー(株)」を選定
- 2023年3月に、「北九州響灘洋上ウインドファーム」の建設工事に着工
- 2025年8月に洋上風車25基の設置が完了し、2025年度内の運転開始を目指す。





26

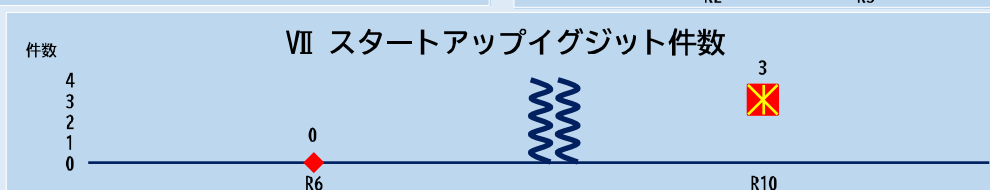
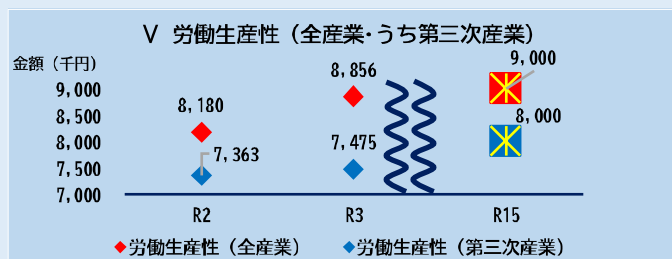
方策  
3

## K P I の達成状況

Niiharyushu  
Action!

| 検証指標                      | 基準（戦略策定時）                                  | 実績（最新値）                                    | 目標（注）                                          |
|---------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 方策③生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等 |                                            |                                            |                                                |
| V 労働生産性<br>（全産業・うち第三次産業）  | 全産業 8,180千円/人(R2)<br>うち第三次産業 7,363千円/人(R2) | 全産業 8,856千円/人(R3)<br>うち第三次産業 7,475千円/人(R3) | 全産業 9,000千円/人(R15)※<br>うち第三次産業 8,000千円/人(R15)※ |
| VI 雇用者一人当たりの雇用者報酬         | 4,631千円/人 (R2)                             | 4,684千円/人 (R3)                             | 5,000千円/人 (R15) ※                              |
| VII スタートアップイグジット件数        | —                                          | 0件 (R6)                                    | 3件 (R6～10)                                     |

（注）※は単年度評価、その他は累計評価



27

令和6年度の取組・実績

- 機運醸成  
ロボット・DXセンター、DX推進プラットフォーム
- 準備  
ワンストップ相談窓口、人材育成
- 実践  
DX推進大学、DXツアー、DX推進補助金（23件）  
産業用ロボット等導入推進補助金（7件）

評価

- 経済産業省「DXセレクション」  
4年連続受賞
- KPI達成に向け順調に推移

今後の方向性

- 労働生産性・付加価値向上への支援
- ロボット・DXを活用した「事業変革」に取り組むモデル企業の創出と横展開
- 稼げるサービス産業への変革  
（規模拡充、付加価値向上）

課題

- 「事業変革」まで取り組む企業はまだ少ない
- 製造業の労働生産性は高い一方、サービス業では伸び悩み



ロボット・DX推進センター

- 専門家によるアドバイスや診断、人材育成、実践時の補助金制度など、切れ目のない伴走支援体制を構築し、ロボット導入・DX推進による生産性向上・事業変革を支援  
（相談受付累計458回、  
コーディネーター・専門家派遣累計1,751回）



北九州DX推進大学

- DXの推進には、経営者・管理者層のマインドセット及び社員のデジタルスキルの向上が必要であるため、階層や業務内容別にDXスクールを創設
- これまで実施してきた北九州高専の経営者層向けのマインドセットに加え、早稲田大学では現場のDXリーダーの育成、北九大では社員のデジタル人材育成に向けた講座を提供  
（受講企業の中から2社がDXセレクションを受賞）



#### DX推進補助金

- 計画策定枠、生産性向上枠、事業変革枠の3つの補助金枠を設け、市内中小企業のDX推進を取り組み状況に応じて支援
  - 交付件数 23件、交付額 47,431千円

#### 産業用ロボット等導入推進補助金

- 産業用ロボット等の導入の事前検証や実現可能性調査、及び導入・更新に要する経費の一部を補助
  - 交付件数 7件、交付額 24,931千円

#### 北九州DX大賞

- DXに取り組む企業のすそ野を拡大するため、市内のDX優良事例を選定し、モデル企業として広く周知
  - 累計 11社選定



継続

#### DX推進補助金

- デジタル技術を活用した付加価値向上、新規事業創出等に向けたDX推進計画の作成や、取組みに係る各経費の一部を補助 (計画策定枠、事業変革枠)
  - 採択 11社、交付予定額 35,205千円

継続

#### 産業用ロボット等導入推進補助金

- 産業用ロボット等導入の事前検証やFS (実現可能性調査) に要する費用や、産業用ロボット等の導入・更新に要する経費の一部を補助 (導入前検証枠、導入支援枠)
  - 採択 6社、交付予定額 24,498万円

継続

#### マーケットイン型の伴走支援

- 新事業や新分野への展開を図る中小企業に対し、専門家によるマーケットイン型の製品・サービス開発や販路拡大・営業力強化に対する伴走支援
  - 採択 5社



新規

### 魅力ある商店街づくり支援事業

- 商店街担い手発掘プロジェクト  
商店街の担い手人材を発掘・育成する勉強会を開催
- 商店街PR動画コンテスト  
商店街の魅力が伝わる動画コンテストを開催
- 商店街空き店舗マッチングサイト  
商店街の空き店舗情報を掲載したサイトを作成

新規

### 付加価値UP！儲かるサービス産業促進事業

- 令和7年4月に市内の食関連事業者を構成員とする「美食産業創造塾」を設立（R7.10現在:加盟23社）。毎月1回定例会を開催し、勉強会や情報交換を行い、アライアンスを強化し、「美食産業経済圏」構築を目指す。
- 11月に、メンバー間のアライアンスを体現した、食のイベント「一期一食（いちごいっしょく）2025」を勝山公園で開催。



### 令和6年度の主な取組

- 生産性向上・賃金引上げ応援補助金交付

### 評価

- 雇用の確保・定着等への対策として、賃上げ気運は高まっている
- KPI達成に向け順調に推移

### 今後の方向性

- 継続した市内企業の支援により、「企業収益拡大⇒賃上げ⇒消費増⇒企業収益拡大」という経済の好循環につなげ、更なる報酬増を図る

### 課題

- 人手不足、物価高騰、米国関税等による企業業績の影響、景気の影響
- 適正な価格転嫁、生産性向上、付加価値向上の推進



### 生産性向上・賃金引上げ応援補助金

- 国の業務改善助成金(厚生労働省)の交付決定を受けた事業者に対して、さらに市から上乗せ補助
  - 交付件数 54件、交付額 7,387千円
  - 賃金引上げ人数 250人
  - 賃金引上げ幅
 

|       |      |       |     |
|-------|------|-------|-----|
| 90円以上 | 15件、 | 60円以上 | 4件  |
| 45円以上 | 20件、 | 30円以上 | 15件 |

#### 参考

### 令和7年度春季賃上げ・初任給調査結果（北九州商工会議所）

- 賃上げ実施企業63.0%（前年度比0.4ポイント増加）
- 賃上げ率(単純平均)4.17%（前年度比0.38ポイント増加）
- 賃上げ額11,046円（平成4年以来33年ぶり11,000円超）
- 初任給額はすべての学卒で前年度を上回り、全業種・全規模の平均額は前年度に引き続き、過去最高額



#### 新規

### 成長促進トライアル補助金

- 地域未来を牽引する中核企業等の成長の促進を後押しするため、新規事業展開、販路開拓、ブランディング等、成長に向けた新たな取組を支援
  - 採択 4社、交付予定金額 400万円

#### 【支援事例】三島光産株式会社

製造業で培った技術を活用した製品（マイクロニードル/痛くない注射針）の美容分野への新規参入を支援

#### 新規

### 新規事業の創出等を伴走支援

- 新規事業の創出等、成長に向けた新たな取組を実施していく上で必要な計画の策定など、その具体化を図る伴走支援を行うことにより、成長に向けた第一歩を後押し
  - 採択 1社

#### 【支援事例】株式会社ミクニ

高齢者関連のあらゆるサービスを一元的に提供する新規事業「高齢者向けワンストップサービス」の立ち上げを支援



### 令和6年度の主な取組

- 市内スタートアップ企業や行政課題の解決、市内企業との協業に取り組むスタートアップ企業に資金支援・伴走支援を実施
- イグジット件数0件

### 評価

- 13社のスタートアップ企業を採択、資金支援・伴走支援を実施
- スタートアップイグジット件数は0件

### 今後の方向性

- ベンチャーキャピタルや行政、事業会社とのマッチングを促し、スタートアップ企業の成長ステージを進めることで、IPOやM&A等のイグジットに繋げる

### 課題

- 売上10億円以上のミドル期以降の市内スタートアップ企業が少ない



### スタートアップ企業による課題解決プロジェクト

- 市内スタートアップ企業に特化した成長支援、行政課題の解決や市内企業との協業に対する支援制度を創設
- 今後1～2年間で実証フィールド調整や広報支援などの伴走支援、200～1,000万円／年の資金支援を実施
- 採択企業 13社、資金支援 5,100万円



### 北九州イノベーションゲートによるマッチング

- 課題等と解決策のマッチングサイト「北九州イノベーションゲート」を構築
- 企業や行政などの課題・新しいチャレンジを「見える化・集約化・共有化」し、共創を促進
- 令和7年度本格稼働

新規

### スタートアップ成長支援ファンド

- ベンチャーキャピタル「9Capital」が立ち上げたファンドに初の出資 ➤ 出資額 1億円
- 来年5月までに北九州市からの出資を含め10億円以上を調達
- 10年間でスタートアップ企業30～50社に投資し成長支援
- ファンドを運営するベンチャーキャピタルや出資者（北九州市、金融機関、事業会社）が一丸となってスタートアップ企業を支援



38

# 産業振興施策の進捗状況

## （方策1～方策3）

## 質疑応答・意見交換①